

(別添資料1)

事業所名

ファイブスター

支援プログラム

作成日

令和7年

1月

1日

法人（事業所）理念		チャレンジ精神を根底に、数値に基づいた具体的な改善策と論理的アプローチで福祉サービスを提供します。利用者一人ひとりの自立と成長を支援し、ポジティブな発想で常に新たな価値創造に挑戦。全ての活動は笑顔あふれる未来への礎として、地域社会とともに歩んでまいります。									
支援方針		1.チャレンジ精神で未来を拓く 児童一人ひとりが自らの可能性に気づき、失敗を恐れずに挑戦できる環境を整え、自己肯定感の向上と成長意欲を引き出します。 2.就労・進学を視野に入れた支援 将来的な就労や進学を実現するため、具体的な就学支援・就労支援プログラムを推進します。職業訓練、学習支援を通して、利用者が自立への道を歩めるよう、段階的かつ継続的なサポート体制を整えます。 3. ポジティブな思考を育む環境づくり 児童が前向きな姿勢で日々を過ごせるよう、成功体験の積み重ねや、明るい未来へのビジョンを共有するプログラムを展開し、安心と信頼に基づく支援ネットワーク									
営業時間		10時	0分	19時	0分	送迎実施の有無		あり	なし		
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	生活習慣の確立・日々のスケジュール管理を支援し、生活リズムの指導を実施。・利用者自身ができる衣服の着脱や簡単な家事、整理整頓の手順作成と練習。心と体の									
	運動・感覚	粗大運動の発達・遊具や室内運動器具を使用し、バランス感覚や全身運動の基本動作（走る、跳ぶ、投げるなど）の練習。・環境内に障害物コースを設置し、計画的な									
	認知・行動	認知スキルの向上・パズル、かんたんな計算、パターン認識ゲームなどを通して、論理的思考と問題解決能力を養成。・視覚的・触覚的教材を用いて、個々のペースに									
	言語コミュニケーション	言語発達支援・絵カードや実物を使った語彙習得、物語の読み聞かせ、簡単なディスカッションを通じた表現力向上のトレーニング。・発音や音韻認識の基礎練習、リ									
	人間関係社会性	人間社会的スキルの習得・ロールプレイやグループディスカッションを用いた対人関係の基本マナー、協力・譲歩の練習。・感情の表現方法や相手の気持ちを理解する									
家族支援		1.定期的なコミュニケーションと情報共有の仕組み 家庭とサービス提供者の連携を強化するため、定期連絡帳やオンライン面談を実施。保護者とスタッフが児童の様子や支援内容について意見交換し、家庭での取り組みと連動した包括的な支援が行えるよう努めます。 2.保護者向けワークショップ・イベントの開催 子育てや思春期特有の問題、ストレスマネジメントなどをテーマに、ワークショップやイベントを開催。保護者が情報交換や互いの経験を共有できる機会を提供することで、家庭全体の安心感や自信の向上を図ります。				移行支援		1. 就労体験プログラムの実施 地域の企業やコミュニティ施設と連携し、職場見学の機会を設ける。 2. 進学・就学支援プログラム 個別相談や学習サポートを行い、次の教育段階への移行を支援する。 3. 生活スキル向上プログラム 自立した生活を営むための基本的なスキル向上を目指し、金銭管理の指導を行う。 4. 個別移行計画の策定 利用者一人ひとりの状況や目標に合わせた個別の移行支援計画を作成し、実施する。			
地域支援・地域連携		1. 地域イベントへの参加・共催 地域のお祭りや文化イベント、スポーツ大会などに利用者やスタッフが参加することで、地域住民との交流を深めます。また、地域行事と連携したプログラムを共催することで、利用者の社会的参加を促進するとともに、地域全体で子どもたちへの理解や支援体制を築きます。 2. 地域ボランティアやNPOとの連携 地域のボランティア団体やNPO法人と協力し、利用者が体験できる地域サービスやボランティア活動の機会を設けます。例えば、地元の清掃活動やフードバンクへの参加を通じて、地域社会への貢献意識や共同体意識の醸成を図ります。 3. 地元企業との連携による職業体験プログラム 地域の中小企業や商店、サービス業との協力で、短期の職業体験や職場見学を実施。利用者が地域の仕事の現場を実際に見学し、将来的な就労や自立に向けたモチベーションを高める機会となります。 4. 地域の学校、保健センター、福祉施設との情報共有 放課後デイサービスが地域の教育機関や医療・福祉施設と定期的に連携会議を開催し、利用者の現状や支援状況に関する情報を共有。これにより、各機関が協力して包括的な支援ネットワークを形成し、利用者へのサポート体制を強化します。 5. 地域コミュニティセンターでのワークショップ実施 地域のコミュニティセンターや集会所を活用して、親子向けの				職員の質の向上		1. 定期的な研修会・勉強会の開催 職員同士や外部の専門家を招いた研修会を定期的に実施します。 2. ケーススタディの共有会* 実際の支援事例をもとに、職員がグループでディスカッションを行い、学びを共有する。 3. **自己啓発支援プログラム 各自のキャリアプランに応じた自己啓発を促すため、外部セミナーや講座の参加を支援する。 4. **チームビルディング活動の実施 定期的な職員間の交流会や、ワークショップ、レクリエーション活動を通じて、チームの結束力を高める。			
主な行事等		季節イベント（お正月遊び、節分、ひなまつり、お花見会、ハロウィン、クリスマス会、お食事会等） おでかけ、就労体験、ミニ運動会、ふらっとマルシェ									